

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」「評価の観点」「問題形式」全ての項目において、県の平均正答率を上回る成果が出ている。
- ・「聞くこと」「書くこと」の領域において、成果がみられている。
- ・特に前年度、同一集団においての課題であった「表現の能力」においては、県の平均を2.4ポイント上回ったが、正答率は、31.3%と低かった。

「今までの学力変化」の分析

- ・県の伸びと同等である。

「学力の伸びの状況」の分析

- ・全ての層において、県の伸びとほぼ同等である。

2 内容別の主な結果

同一集団の成績推移

向上した
変化なし
低下した

		平成30年度 中学校2年生			平成31年度 中学校3年生			経年変化	
		学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較	
		8-A	8-A	0	10-C	10-C	0	0.8	
		65.4	65.4	0.0	56.6	55.8	0.8	0.8	
		平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較	
		草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化	
教科の領域等	聞くこと	73.3	72.9	0.4	62.7	61.7	1.0	0.6	
	話すこと	-	-	-	-	-	-	-	-
	読むこと	61.9	62.3	-0.4	54.8	54.5	0.3	0.7	
	書くこと	63.3	61.8	1.5	52.8	50.9	1.9	0.4	
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-
	外国語表現の能力	64.9	65.2	-0.3	31.3	28.9	2.4	2.7	
	外国語理解の能力	69.3	69.2	0.1	55.9	55.2	0.7	0.6	
	言語や文化についての知識・理解	59.5	59.5	0.0	59.2	58.5	0.7	0.7	
問題形式	選択式	65.4	65.4	0.0	57.3	56.5	0.8	0.8	
	短答式	-	-	-	-	-	-	-	-
	記述式	64.9	65.2	-0.3	31.3	28.9	2.4	2.7	

3 今までの学力の変化

草加市

埼玉県

		中学校2年生	中学校3年生
高	レベル12		
	レベル11		
	レベル10		
	レベル9		
学力	レベル8		
	レベル7		
	レベル6		
	レベル5		
低	レベル4		
	レベル3		
	レベル2		
	レベル1		

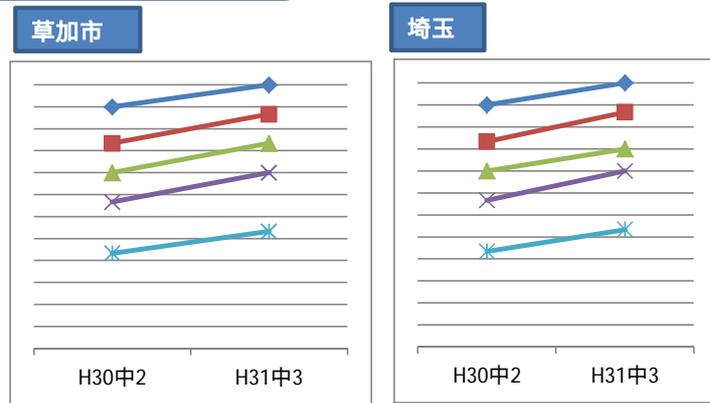
【グラフの見方】

- ・基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

【活用の仕方(例)】

- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
 - ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。
- ※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見ることで、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

4 学力の伸びの状況



最大値（最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル）
 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
 最小値（最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル）

・ 指導が必要な項目

【外国語表現の能力】 記述式 平均正答率 草加市 31.3 埼玉県 28.9 差 2.4 無解答率 25.9(草加市)27.5(埼玉県)

問題の概要 与えられたテーマに基づき、英語で適切な理由を書く
出題の趣旨 文章の構造を踏まえ、主張に対する理由を書くことができる
【言語や文化についての知識・理解】 平均正答率 草加市 59.2 埼玉県 58.5 差 0.7

問題の概要 (書くこと) 英文の正しい語順を選ぶ (読むこと) 英文が完成するように語彙を選ぶ
出題の趣旨 (書くこと) 正しく文を組み立てることができる (読むこと) 文法についての知識と内容にあう表現を選択する
 「外国語表現の能力」に関する指導について

分析

・「外国語表現の能力(書くこと)」については、県の平均正答率を2.4ポイント上回ったものの、正答率が31.3%であり、無回答率が25.9%とどの問題よりも高かった。
 問題の内容は、賛成意見として、理由を書くといったものであった。

外国語表現の能力(書くこと)	草加市	埼玉県	県との差	無回答(草加市)
与えられたテーマにもとづき、英語で適切な理由を書く。	31.3	28.9	2.4	○ 25.9

指導のポイント

・令和元年度より、中学校全学年に草加市副教材である「センテンスマラソン(英文を1,000文書く)」という冊子を配布し、「書くこと」の活動の充実を図っている。

【使い方】

- レベル1 英文を書き写す。
- レベル2 話した英語を書く。
- レベル3 自分の考え、思いを英語で表現して書く。

【授業での取組方法】

「話すこと(やりとり)」の言語活動の後に、自分が発話した内容の英文を「書く」時間を短時間でも設ける。
 教科書を読んだ後、その内容に対する自分の意見を書かせる。(ある内容を聞いた後、意見を書かせる。)
 基本文を導入後、まとまりのある文章を書かせる。(トピック:自分の夢、家族の紹介、日本文化の紹介等)
 「話して書く」「読んで書く」「聞いて書く」等の領域を統合した指導が必要である。また、英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く指導も効果的である。

「言語や文化についての知識・理解」に関する指導について

分析

・「言語や文化についての知識・理解」に関する全体の正答率は、早加市 59.2% 埼玉県 58.5% であるが、「言語や文化についての知識・理解」の「書くこと」「読むこと」の問題において、平均正答率50%未満の問題は、以下のような結果であった。

「言語や文化についての知識・理解」 正答率50%未満の問題					
	問題の概要	草加市	埼玉県	県との差	
読む	英文が完成するように、()に当てはまる一般動詞を選ぶ。	27.5	26.7	0.8	○
	時間についてたずねる表現を選ぶ。	46.8	44.7	2.1	○
書く	不定詞を用いた英文の正しい語順を選ぶ。	26.2	24.3	1.9	○

指導のポイント

【前置詞を含む表現】

・walk to , get up, look for, take care of 等、前置詞を含む表現は、まとまりのあるフレーズで活用できるように導入する。

【不定詞の中でも定着が弱い形容詞的用法】

・something to drink ……何か飲み物
 many books to read ……読む本をたくさん
 an interesting place to visit ……興味深い訪問地

日本語の訳を意識しすぎずに、多くの例文に触れさせることが必要である。例：読んだ文と絵を結び付ける活動など